

来年度以降の交流事業再開に向け、 ベトナム・ダナン市を稲田市長が訪問します

10年以上にわたり実施してきた「中学生海外派遣事業」等のベトナム・ダナン市との交流事業は、コロナ禍の影響により令和2年度から休止状態となっています。そこで、来年度以降の交流事業の再開を目指して、稲田市長が就任後、初めてダナン市を訪問します。

- 1. 目的** ①稲田市長が就任後、初めてダナン市を訪問することで、ダナン市長とのトップ会談により両市のさらなる友好・協力関係を築くため。
②「中学生海外派遣事業」等の交流事業の来年度以降の再開に向けた、ダナン市との協議および現地確認を行うため。
- 2. 日程** 令和5年8月7日(月)～11日(金・祝) 3泊5日(機内泊1泊)
※ダナン市の滞在期間は8日(火)から10日(木)
- 3. 現地予定** ・ダナン市人民委員会、外務局を表敬訪問・会談・歓迎会出席
・中学生派遣事業のホームステイ先や訪問候補地(日本語学校等)の視察
- 4. メンバー** 稲田市長、市民代表(※)、まちづくり課職員 計3名
※松本美紀子様:中学生派遣事業に過去2回同行し、受入事業でもホストファミリーを務めるなど本事業に尽力。現地の方々との交流が現在も続いている。見附市国際交流協会副会長。

【参考】交流事業の実績

見附市とダナン市との交流は、学生の交流を中心とした草の根の国際交流として発展。

・ダナン市への「中学生海外派遣事業」

平成20年度から実施。見附市内の中学生を派遣する事業。令和元年度までに計93名が参加。現地の日本語学校や中学校等を訪問したほか、一般家庭でのホームステイを通じて交流を深める。

・ダナン市からの「訪問団受入事業」

平成19年度から実施。ダナン市で学ぶ熱心な学生を招き、企業訪問や文化体験などのほか、一般家庭でのホームステイを通じて交流を深めている。過去13回で52名が見附市を訪問した。

・日越文化交流フェスティバル派遣事業

成田空港～ダナン空港の直行便就航を記念して平成26年度からダナン市で開催されているフェスティバル。見附市は平成27年度に初参加。これまで文化団体によるパフォーマンス披露等を実施。